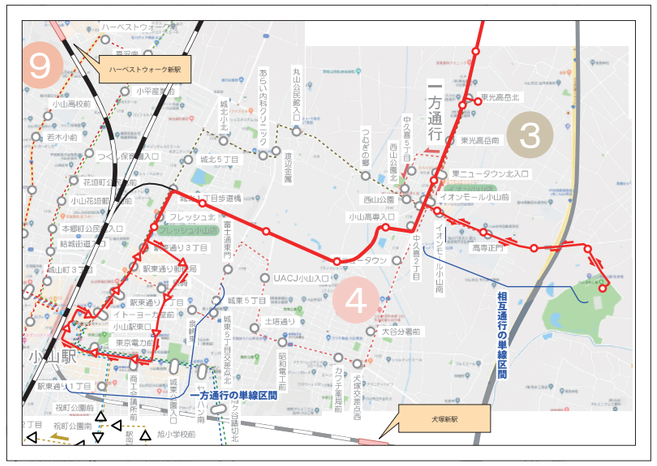
歩いて楽しいまちの魅力発見プロジェクト

まちの中心部が、歩いて楽しいことが、その街の暮らしが長らく楽しくなる秘訣、だと信じて、まちの魅力を再発見したりアイデアをふくらませる話し合いの場づくりを重ねる、様々な主体によるプロジェクトです。

原則として不定期で、実行委員会形式で定期開催したり、それを発展的に解消したりしています。



人が街に来るための仕掛けを多面的に話します。

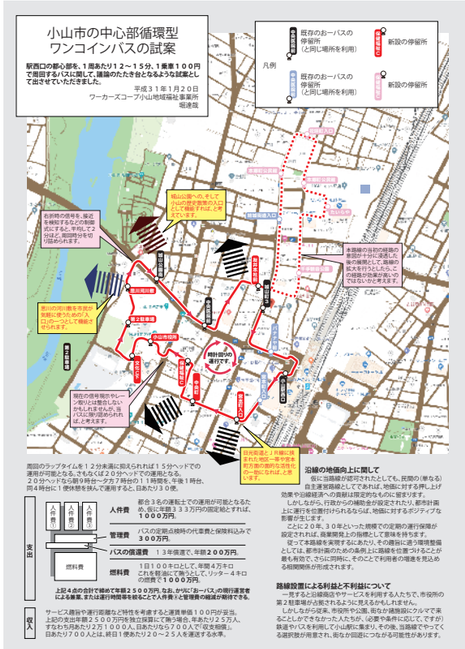
防災えんにちプロジェクト

「いざ」という時に何をすればいいのか、もしも避難所で過ごすことになった時、その場を少しでも快適にするにはどうしたらよいのか、などを話し合って、その成果や外部の方々の出張講話を集め、おやま～るの法定の避難訓練とセットで実行しています。

交通まちづくり学習会

おーバスの利便性の向上に向けて市民ができる事を話し合ったり、都心の有料駐車場の所在と金額を調べたりして「歩いて過ごせる街の中心」を、どのようにみんなで作るか、を話し合ってきています。

まち歩きをして、実際に何があるのか、何が隠れているのかを探します。



街の回遊性などを考える時、公共交通をどのように維持するのか、なども話題にのぼります。

本があふれる街づくり交流会

本屋さんや銀行やクリニックのミニ図書コーナー、あるいは古書店の出張販売先の追跡や、他の商品に混じって本を売るお店の紹介などをしてきました。（平成２９年度）

オモシロ狩り会議

ヒューマンライブラリ、という海外発祥のプロジェクトを小山流、栃木県流に再構築して、広場や都折を使って開催しました。（平成３０年度）

ご商売をしている方の声も、聞いていきます。

街の楽しさの源を、専門家を招いてお話を聞いて、イメージを膨らませます。

小山市市民活動センター

おやま～るの
「ネットワークづくり」
プログラム

登録団体や市民の方々が、様々な形で、社会に必要とされる事業を担われています。そうした担い手団体が繋がることで大きな力を発揮することを期待し、活動のネットワーク化を図っています。これまで相談等を受けた対象領域としては「市民による地域の防災」「市民農園と家庭菜園の担い手と貸し手」「ママ支援／ママさん起業家の人たち」「貧困世帯の子どもやママの支援」「元気シニア交流の主催者と利用者」などがあり、団体の皆さんとセンターとでプログラムを作り上げていきます。